

1. 国際ワークショップの共催

日本安全保障貿易学会は東京大学大学院公共政策研究科が進める「科学技術の進展と国際問題研究プロジェクト」と共催で、『アジアにおける安全保障貿易管理—地域間協力の枠組みを求めて』と題する国際ワークショップを2007年7月28日に国際文化会館で開催した。アメリカと韓国から3名の専門家が出席し、上記テーマをめぐって活発な討論が交わされた。上記テーマは本学会が設立されて以来、常に研究大会における共通論題となってきた重要なテーマであり、本学会から約50名の会員が出席して討論に加わった。この国際ワークショップは、学会活動を国内に限らず、外国の研究者などとの交流にまで広げる試みの一環として行われたものであり、今後の学会活動の国際展開を図る第一歩となった。これを契機に国際輸出管理学会（IECA）や韓国安全保障通商学会（KAST）などとの研究交流を深めて行きたい。

2007年7月

日本安全保障貿易学会 会長 山本武彦



国際ワークショッププログラム

2007年7月28日（土）於：国際文化会館

9:30～:9:40 挨拶 山本武彦（日本安全保障貿易学会会長）

第一部：概観

日本安全保障貿易学会 2007年度活動報告

9:40～10:20 基調講演：米国から Dr. S. Gahlaut (CITS, ジョージア大学)  
10:20～11:00 基調講演：日本から 佐藤丙午(拓殖大学)  
11:00～11:30 休憩  
11:30～12:30 パネルディスカッション  
モデレーター：鈴木達治郎(東京大学)  
パネリスト：M. Chinworth (Vanderbilt Univ)、秋山信将(一橋大学)  
12:30～13:45 昼食

第二部：各国の取り組みと現状の課題

13:45～14:45 日本の安全保障貿易管理  
高野順一(三井物産株式会社)  
長尾葉介(㈱日立製作所)  
コメンテーター：城山英明(東京大学)  
14:45～16:15 海外諸国の展望  
Prof. KIM Kyoung Soo (Myongji University、韓国)  
コメンテーター：鈴木一人(筑波大学)  
16:15～16:30 休憩

第三部：地域間枠組み作りに向けて

16:30～18:00 パネルディスカッション  
モデレーター：山本武彦  
パネリスト：M. Chinworth、佐藤丙午、KIM Kyoung Soo  
18:00～18:15 閉会挨拶  
鈴木達治郎  
Dr. Seema Gahlaut  
18:30 レセプション

※ 報告者のレジメは学会ホームページ (<http://www.cistec.or.jp/jaist/>) に掲載しておりますのでご参照ください。





## 2. 第5回研究大会

第5回日本安全保障貿易学会研究大会は2007年9月8日(土)に慶応義塾大学にて120名の会員の参加を得て開催された。前大会で若手の学会員による研究報告の機会を設けてはどうかとの提案があり、今大会では午前の部を自由論題セッションとして若手研究者による報告の場を設け自由闊達な討議を行った。また午後の部は第4回研究大会に続き「アジアの安全保障環境の変化と輸出管理」を共通テーマとして設定し、第1セッションでは『国際テロリズムと輸出管理の錯綜』のテーマの下に報告と討論が行われ、また第2セッションでは『イランの核開発と輸出管理』と題して、イランを取り巻く輸出管理の実態について報告と討論を行った。いずれのテーマも近年のアジアと日本における安全保障貿易の機微に触れる問題を多く孕む論点だけに、参加者の中で積極的な議論が交わされた。

2007年9月

日本安全保障貿易学会 会長 山本武彦



第5回研究大会プログラム

・自由論題セッション 9:30～11:30

報告者：永野 秀雄（法政大学）

「米国のセキュリティ・クリアランス制度－特に、民間企業の被用者に適用される 国家産業セキュリティ・プログラム (National Industrial Security Program) について－」

報告者：別所 英実（日本銀行）

「BDA問題を巡る経済安全保障－国際的資金移動の観点から－」

討論者：清水 正幸（株東芝）

利光 尚（三菱商事株式会社）

司会兼討論者：村山 裕三（同志社大学）

<第1・第2セッション共通テーマ：アジアの安全保障環境の変化と輸出管理>

・第1セッション 13:00～15:00

『国際テロリズムと輸出管理の錯綜』

報告者：加藤 朗（桜美林大学）

「国際テロリズムの現況と国際関係」

報告者：青木 節子（慶應義塾大学）

「非国家主体に対する輸出管理－大量破壊兵器等の規制について」

報告者：平井 進（ソニー株式会社）

「非国家主体に対する輸出管理－Dual-use 規制の今後」

討論者：宮坂 直史（防衛大学校）

司会：鈴木 一人（筑波大学）

・第2セッション 15:20～17:20

『イランの核開発と輸出管理』

報告者：小泉 直美（防衛大学校）

「ロシアの原子力行政と兵器輸出管理政策：対イラン政策を念頭において」

報告者：田中 浩一郎（日本エネルギー経済研究所）

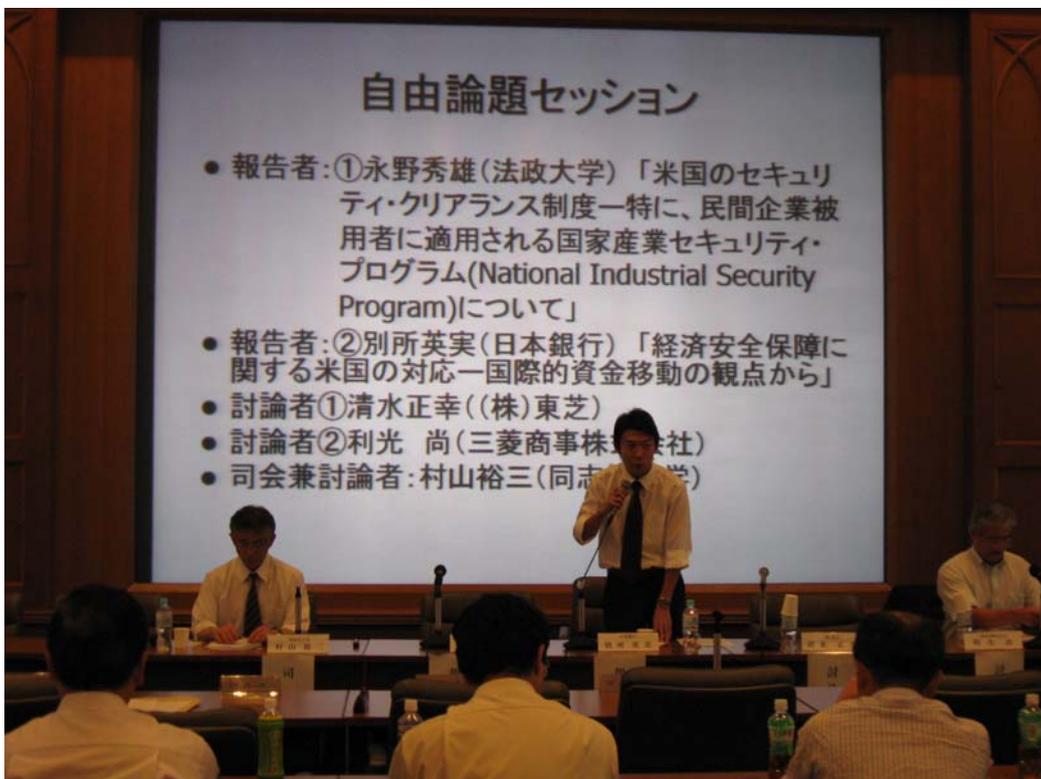
「イランをめぐる国際情勢と核開発」

報告者：浅田 正彦（京都大学）

「イランの核問題に対する国際社会の対応」

司会：山本 武彦（早稲田大学）

\* 発表者のレジメは学会ホームページ(<http://www.cistec.or.jp/jaist>)に掲載してありますのでご参照ください。







3. 第15回アジア輸出管理セミナー 学会との交流セッション

日本安全保障貿易学会は今年度の新たな試みとして、11月20日(火)～11月22日(木)にシェラトン都ホテル東京で行われた「第15回アジア輸出管理セミナー」に於いて、11月22日午前中の部で「学会と参加各国政府関係者との交流セッション」を開催した。学会創設以来、研究大会では一貫して「アジアの安全保障環境の変化と輸出管理」をテーマに取り上げてきており、これまで学会として継続して取り組んできたアジア地域における輸出管理の協力のあり方に関して、日本政府の政策的意図とは一歩離れたスタンスで意見交換、交流を試みた。

基調報告の後、学会側からアジアにおける輸出管理の地域協力に関し問題提起を行い、香港、シンガポール及び韓国からの発表に引き続きパネル討論を実施した。セミナー参加者とは積極的な意見交換ができ、学会として将来に向けたアジアの輸出管理体制の構築構想に向け第一歩を踏み出すことができた。本セッションには学会からは30数名の会員が参加したが、今後もこのような機会を積極的に活用し学会活動の国際的展開を進めていきたい。

2007年11月

日本安全保障貿易学会 会長 村山裕三



第15回アジア輸出管理セミナー 学会との交流セッション  
パネルディスカッション

第15回アジア輸出管理セミナー 学会との交流セッション アジェンダ

**Third Day (November 22, 2007)**

***Morning Session*** (Venue: ***Grand Ballroom Daigo (West), B2F***)

**Theme 6: The developments of the export controls in Asia and how to solve them**

\* Theme 6 is an interchange session with Japan Association of International Security and Trade (JAIST).

- 9:30-10:00 Keynote Speech by the President of Japan Association of International Security and Trade.  
Prof. Yuzo Murayama, Doshisha Business School
- 10:00-10:20 The Issues of the Export Controls in Asia  
Associate Prof. Kazuto Suzuki, Tsukuba University
- 10:20-10:35 Strategic Trade Controls in Hong Kong, China and International/Regional Cooperation  
Ms. Erica Ng, Assistant Director-General of Trade and Industry, Trade and Industry Department, Hong Kong China
- 10:35-10:50 Export Controls in Singapore and the Regional Cooperation  
Ms. Yeo Li Chen, Trade Control Officer, Trade Control Branch, Singapore Customs
- 10:50-11:05 Export Controls in Republic of Korea and the Regional Cooperation  
Mr. Park Hong Il, Deputy Director, Export Control Division  
Ministry of Commerce, Industry and Energy, Republic of Korea
- 11:05-11:20 Coffee Break
- 11:20-12:15 Panel Discussion: Toward Effective Regional Cooperation of Export Controls in Asia  
Moderator: Associate Prof. Kazuto Suzuki, Tsukuba University  
Panelist: Ms. Erica Ng, Hong Kong China  
Ms. Yeo Li Chen, Singapore  
Mr. Park Hong Il, Republic of Korea
- 12:15-14:00 Lunch (Venue: ***Grand Ballroom Daigo (East), B2F***)

注：発表者のレジメは学会ホームページ (<http://www.cistec.or.jp/jaist>) に掲載してありますのでご参照下さい。



村山会長 基調報告

筑波大学鈴木准教授 問題提起



香港／チャイナ 発表



シンガポール 発表



韓国 発表



会場風景

#### 4. 第6回研究大会



第6回日本安全保障貿易学会研究大会は、2008年3月22日（土）に同志社大学にて開催された。今大会は2回目の関西地域での研究大会となり、当日は70名を超える参加者があった。前回に引き続いて午前の部を自由論題セッションとして新進研究者による報告の場を設け、発表に対するコメント、討議を行なった。午後の部第1セッションでは『米国の再輸出規制』をテーマに取り上げ、国際政治の視点から浮かび上がる課題とともに、米国実地調査の結果報告がなされ、これらを踏まえた討論が行われた。また、最近では製品の輸出入のみならず、技術の流出に対する管理の重要性がクローズアップされるなか、第2セッションでは『みなし輸出規制と技術移転』と題して、米国における現状と課題の分析、日本企業の取り組みと大学の抱える課題、さらには日本政府の取り組みについての報告が行なわれ、産官学が参加した活発な議論が交わされた。いずれのテーマも、日本における安全保障貿易の本質にふれる問題を多く含むトピックであり、参加者の関心度も高く、積極的な議論が行なわれた。

2008年3月

日本安全保障貿易学会 会長 村山裕三

#### 第6回研究大会プログラム

##### ■午前の部

自由論題セッション1

10:00～11:00

報告者：清田 智子氏（拓殖大学大学院）

「通常兵器の市場の変化と規制を巡る諸問題」

司会兼討論者：村山 裕三氏（同志社大学）



自由論題セッション2

11:00～12:00

報告者：尾崎 寛氏（三井住友銀行）

「米国のマネーロンダリング対応規制の概要」

討論者：利光 尚氏（三菱商事）

司会：村山 裕三氏（同志社大学）



■午後の部

第1セッション『米国の再輸出規制』

13:00～14:45

報告者：佐藤 丙午氏（拓殖大学）

「米国の再輸出規制と国際交渉」

報告者：田上 靖氏（日立製作所）

「米国の再輸出規制～米国政府機関（BIS、OFAC）を訪問して」

討論者：平井 進氏（ソニー）

司会：山本 武彦氏（早稲田大学）



休憩 14:45～15:00

第2セッション『みなし輸出規制と技術移転』 15:00～17:00

報告者：加藤 洋子氏（日本大学）

「人・物の移動と国家－米国の場合－」

報告者：新留 二郎氏（東芝）

「みなし輸出・技術移転と企業における輸出管理」

報告者：佐藤 達夫氏（経済産業省）

「技術移転に係る輸出管理規制の現状と課題」

討論者：樋口 禎志氏（産業技術総合研究所）

司会：村山 裕三氏（同志社大学）



※ 報告者のレジメは学会ホームページ (<http://www.cistec.or.jp/jaist/>) に掲載しておりますのでご参照ください。